

障がい児部会 報告書

会議名	第1回 障がい児部会		
開催日時	令和5年8月18日（金）14時～16時		
開催場所	板橋区役所 北館9階 大会議室B		
出席者数	11名（欠席1名）	傍聴者数	2名

報告事項（4件）

議題名	第9期障がい児部会の活動計画
概要	第9期障がい児部会の主な協議事項、相談支援・障がい児相談支援の充実に向けた計画相談の理解促進・関係機関との連携、委員構成、スケジュール等を共有した。

議題名	部会員の障がい児に係る取組と課題の共有
概要	・令和4年度第2回障がい児部会にて共有された、部会員が行っている障がい児に係る取組と課題を一覧にまとめた。また、子どもの発達支援ガイドブックを用意した。 ・切れ目のない支援等を協議していくに当たり、今後、当部会の開催時には、この一覧とガイドブックを手元に置き、部会員の取組が見える化されている環境を作りたい。
主な意見・回答	・部会の参加者だけでなく、幼稚園や保育園の取組なども掲載できるとよい。 →ゆくゆくは部会に参加していない部署や事業所も掲載していきたいと考えているが、まずは部会員の取組や課題からまとめていく。 ・意見の集め方など、どのような形でまとめていくのか。 →会議外のところで事務局から関係機関へ取組や課題等の意見を聞き取り、まとめたものを年2回の会議で公開していく形を考えている。
今後の方向性	この一覧への追記、修正等の意見や、まだ掲載していない部署・事業所の取組等を事務局から個別に聞き取り、まずは部会員の取組、課題の見える化を進める。

議題名	放課後等デイサービス事業所・児童発達支援事業所連絡会の実施報告
概要	・令和5年5月16日に、放課後等デイサービス事業所連絡会・児童発達支援事業所連絡会を合同で実施したため、実施内容を報告した。
主な意見・回答	・保護者が放課後等デイサービス事業所にお迎えにいくケースが増えていると聞いた。自宅までの送迎がありだった契約が叶わなくなっているという状況なのか。 →放課後等デイサービス事業所の人手不足や、支援の時間を充実させる代わりに送迎をなくしている現状もあるかと思う。契約は不明だが、繋ぎの部分で課題である。

議題名	板橋区障がい者計画2023の障がい児部会に関する事業の進捗
概要	板橋区障がい者計画2023に掲げる重点事業において、障がい児部会に関する事業の取組状況を、各担当課から報告した。（7事業）
主な意見・回答	■サポートファイルの作成・運用 PRが足りないとの意見をもらっている。8月1日～16日時点で、サポートファイルの区ホームページの閲覧数が100件程度だった。区では公式LINE等も開始されたため、作って終わりではなく、使い勝手なども伺いながら運用していきたい。 ・チラシを作成するなど、引き続き周知活動の検討をお願いしたい。

	・利用者などからの修正点をどのような形で収集するのか。 →PRの仕方も含め、区ホームページでの収集などもあわせて検討していく。 ・約20件のご家庭にサポートファイルを知っているか聞いたところ、お一人だけだった。書くことが手間という意見もあり、今後の活用についても検討いただきたい。 →皆様からの意見をもとにブラッシュアップするものだと考えている。紙ベースで配布することも、再検討が必要であれば行っていく。 ■医療的ケア児等コーディネーターの配置 ■重症心身障がい・医療的ケア児等会議の運営 これまでは、都のコーディネーター養成研修へ事業所が直接申し込む形だったが、今年度4月から、区が受講を希望する事業所職員を推薦し、研修を受けていただく流れに、都が切り替えた。今後、コーディネーターの資格を取られた方には、医療的ケア児等会議の運営に携わっていただき、一緒に進めていきたいと考えている。 ■医療的ケア児の受け入れ環境の検討・整備（保育園・幼稚園） 区立高島平あやめ保育園・区立上板橋保育園で計3名の医療的ケア児保育を実施している（たん吸引・経管栄養・導尿、各1名）。現状大きなトラブルの報告はない。 ■医療的ケア児の受け入れ環境の検討・整備（小・中学校） 3名から申請があり、医療的ケア児検討会での決定を経て、ケアを実施している（経管栄養・導尿・インスリンの注入、各1名）。ケアは、基本的に家庭で行っている手技で実施する。障がいが比較的軽度なため、セルフケアなど自立に向けた取組が大切。現状大きなトラブルはない。 ■子ども発達支援センター事業の実施・充実 専門相談、出張専門相談、支援者向け研修等を計画どおり実施した。また、初回相談を受け付けてから実際に相談できるまでの待機期間が長いことが課題であったが、関係機関との連携強化により、R4年度は待機期間を短縮することができた。 ■児童発達支援センターの整備・機能充実 計画で掲げる目標値であった児童発達支援センターの設置数（3つ目）を、R4年度に達成することができた。3つのセンターが中心となり、児童発達支援事業所連絡会を運営していただきたく、保育所等訪問支援についても力を入れるよう、各センターと調整していきたいと考えている。
その他	・きょうだい児支援、家族支援という視点で、実際そのようなご家庭には悩みや課題などがある。区の計画にも盛り込まれるといいと感じている。 →次の障がい者計画について、現在、骨子ができており、きょうだい児支援や家族支援を盛り込む予定ではあるが、今後、素案の策定に向け十分に検討していきたい。

その他（2件）

主な意見 ・回答	・保育所等訪問支援など、学校との連携について、それを担う機関や人員の子育てへの考え方など、捉え方が様々。考え方や認識の統一があつての連携と考える。 →特別支援アドバイザーなど、特別支援教育に関わる人材を体系的に活用し切れていない。体系的活用を通じて、教職員の専門性を高め関心を深めていく。
主な意見	・資料3の取組や課題の見える化にあわせ、保育園から小学校、学校から放課後等サービスなど、縦と横の支援の繋ぎ目についても見える化していきたい。 ・障がい児支援に実際に携わっている支援者（先生、保育士、看護師など）や自立支援協議会障がい当事者部会の委員など、現場レベルの声を当部会へ反映していきたい。